


自ら学び豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第11号
令和3年2月18日発行



文責 校長 小林貴英

新しい生徒総会の形 ～ リモートで実施 ～

「生徒総会は体育館で行うもの」という常識を破った新たな挑戦でした。各教室にしながら実施可能な形を模索し、学校にある限られた機材とアイデアを結集して見事にやり遂げました。今回の生徒総会は、常識にとらわれない姿勢の大切さ、新たに創造・挑戦することのおもしろさを私たちに教えてくれる機会となりました。



映像は各教室へライブ配信。



カメラに映らない裏方さんも活躍中。



各教室に TV モニター(スクリーン)を。



発表者の音声は校内放送を通して。

やり方の新しさだけでなく、1年間の生徒会活動自体も大変素晴らしいものでした。「一心(いっしん)」のスローガンの下、下田中 203 名が絆を強くした1年間の活動でした。今年度の生徒会活動の良さを継承し、さらに良くしていこうと新生徒会役員が来年度に向けて動き出しています。3年生これまで本当にありがとう。1・2年生下田中をさらに発展させていこう。

1.1倍と0.9倍の話 ～ 全校朝会より ～

1よりも0.1だけ多いか少ないかによって物事は大きく変わります。

1.1倍は確実に増えていく数字。 $1 \times 1.1 \times 1.1 \times 1.1 \times 1.1 = 1.46 \dots$

0.9倍は確実に減っていく数字。 $1 \times 0.9 \times 0.9 \times 0.9 \times 0.9 = 0.65 \dots$

自分が向上するための“努力”や“人への思いやり”の行動を、いつもより1.1倍にしたならば…。例えば、英単語の学習をいつもより少しだけ多くやることを毎日続けたとしたならば、いつか英文をスラスラと読めるようになります。清掃の意識をほんの少し上げたとしたならば、自分も誰かもいつもより笑顔が増えるような気がします。

ちょうど1倍では後退はしないけれど、前進もしません。1.1倍には必ず進歩があります。1.1倍をキーワードにした生活を心掛けたいと思います。

新型コロナウイルス感染症のニュースを聞かない日はありません。世界中の誰もがその収束を願っています。1人の感染者が他の人に感染させてしまう数を実行再生産数と言います。1.1人に感染させたならば増え続けてしまいます。1倍を超えないように、私たちは日々、息苦しくてもマスクをし、寒くても換気をし、外出も必要最小限にしています。もう少し一緒に頑張りましょう。2月14日時点の実行再生産数は0.8とのことです。

3年生卒業までのカウント・ダウン

3年生の各教室にはカウントダウン・カレンダーが掲示されています。その数字はいつのまにか、両手で数えられる程までに減ってしまいました。日に日に、3年間仲間と過ごした学び舎と別れる寂しさが募ります。また、体も心も成長させてくれた家族や学校、地域の方々に対する感謝の思いもふくらんでいることと思います。

今年度3学年が掲げた目標は「突破」でした。副題には「新たな道を切り開け」とあります。前向きな力強さを感じます。今年度を振り返ると、やれなかったことがたくさんありました。しかしその分、初めてやることもたくさんありました。大会やコンクールの中止という難局に、強い心をもって立ち向かってきました。縮小した県内修学旅行も、不平不満を口にすることなく楽しみました。ある意味で、もっとも成長できた1年だったのかもしれない。そう思えたらいいですね。

3年生の笑顔と元気、一生懸命に取り組む姿を後輩たちは引き継いでくれます。



9/5 秀嶺体育祭



10/13 修学旅行 テーブルマナー



10/31 秀嶺祭 3学年合唱

3月2日の卒業式では、秀嶺祭で感動を呼んだ3学年合唱「群青」が、再度体育館に響き渡ります。